

経営体の概要

- 所在地：愛媛県西予市
- 実施主体：木下 富之
(檻管理者、皆江地区の鳥獣対策指導者)
- 実施地区：三瓶町皆江
- 栽培作物：柑橘類

導入技術

- 広域型罾センサー通信装置（オリワナ通信）

【概 要】

- ・ 子機と親機からなり、子機は罾の作動を感知し、親機へと通知。
- ・ 親機が子機からの情報を受信して、スマートフォンへ通知。
- ・ スマートフォンでは自動的に専用アプリがアラート音ととも起動し、罾の作動状況を遠隔監視。



写真1 広域型罾センサー通信装置の設置状況



写真2 捕獲檻及び通信装置動作確認

導入経緯

- 皆江地区では、多様な柑橘類を栽培しているが、イノシシ、ハクビシン等による被害が深刻化。
- 箱罾の設置等による対策が急務とされているが、多くの罾を広範囲に仕掛けると、毎日の見回り作業時間が多くかかり労力負担が大きい。
- 罾の見回り作業の軽減や効率化を図るため、令和元年度に、オリワナ通信装置を導入。

取組の特徴・効果

- 装置の導入により、地域の中心的農業者と連携した捕獲活動を開始。
- 通信による通知を受けての捕獲頭数は、令和2年度：31頭、3年度：12頭、4年度：8頭、5年度：5頭であった。



【効 果】

- 給餌以外での箱罾の見回り作業時間が短縮でき、箱罾管理の効率化につながった。
見回り作業時間(1箱あたり年間平均)
60.0時間 → 30.2時間
- 箱罾の見回り時間が大幅に短縮できることで、箱罾設置個数の増加が見込まれる。
- 農業者への聞き取りの結果、装置の導入等による捕獲活動で、地域の有害獣個体数の減少が見込まれる。